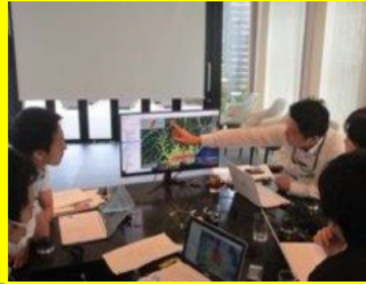


「都市構造可視化」の普及 とハザードの可視化

～Dissemination of visualizing urban
structure & visualizing natural
hazard for emergency～



国土交通省中部地方整備局
建政部都市整備課 阪井 宣行

1. 都市構造可視化における地方整備局の役割

1. National governments function of i-urban renovation(i-UR)

- ① 都市構造可視化（i-都市再生）の普及啓発
Dissemination of visualizing urban structure (i-UR)
- ② 都市構造可視化の現場での活用a
Actual use of visualizing urban structure in real society

2.都市構造可視化（i-都市再生）の普及啓発

2.Dissemination of visualizing urban structure (i-UR)

○都市構造可視化（i-都市再生）の普及啓発

H30 内閣府主催の都市構造可視化研修会に参加

→都市構造可視化サイトの活用・研究

都市計画ビジュアルコミュニケーターの取得

R1 都市構造可視化連絡会に中部地方整備局の代表として参画

→都市構造可視化の活用・普及啓発

→i-都市再生推進のための人材育成（研修会）

技術の現場展開・一般化に向け活動中

○R1の活動状況

4/25~26 都市構造可視化整備局職員向け研修会(講師)

6/13~14 まちづくりの現場で使える都市構造可視化研修(事務局)

7/25 都市計画基礎調査情報の利活用に関する研修会(中部)(講師)

8/20 令和元年度愛知県市町村職員土地区画整理研修会(講師)

8/23-25 官民連携まちづくり塾2019@熱海(データ提供)

10/1~ 地方整備局内の休憩スペースにリーフレットを設置(情報提供)

随時 研修生向け定例WEB Meeting 毎週木曜 13:15~13:45

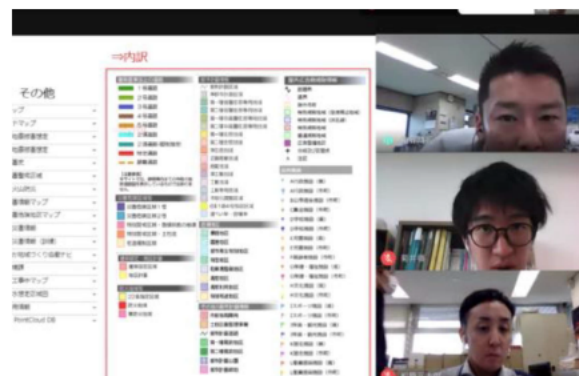
自治体研修生の上司への挨拶、協力依頼

2.都市構造可視化（i-都市再生）の普及啓発

2.Dissemination of visualizing urban structure (i-UR)



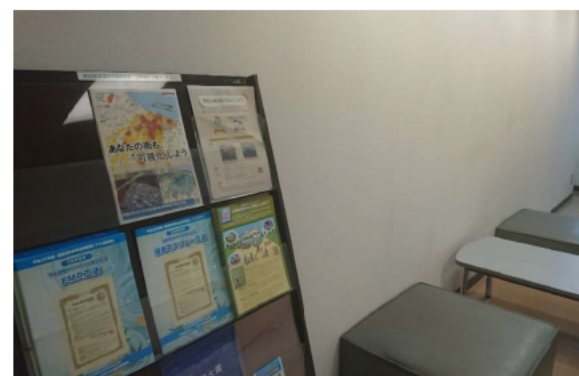
各種会議での講師活動による情報提供・説明



毎週木曜の定例WEB Meeting



まちづくりの現場で使える都市構造可視化研修



整備局内の休憩スペースにリーフレットの設置

3.都市構造可視化の現場での活用

3.Actual use of visualizing urban structure in real society

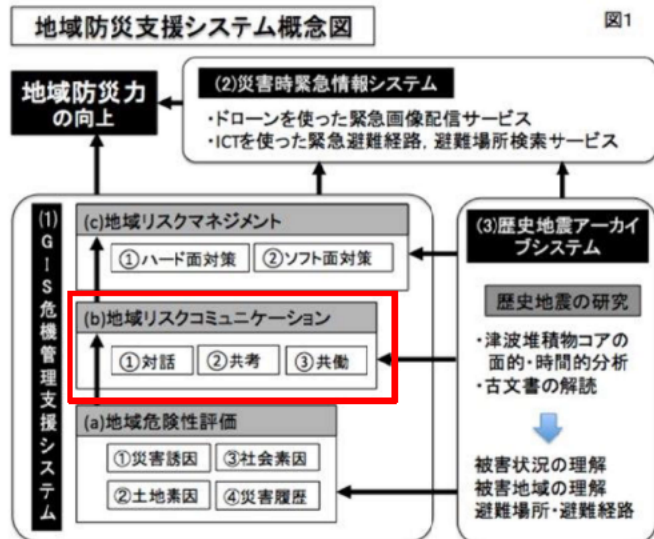
都市構造可視化の防災への活用(三重大学&三重県尾鷲市の事例)

- 尾鷲市は津波到達時間が最短で6分
 - 行政、住民とも津波を意識しているが具体の行動に繋がっていない
- 都市構造可視化を活用した**被災状況(想定)の共有**

表 2.5 各地区の津波到達予想時間及び避難可能距離一覧表

町名	津波到達 予想時間 (分)	避難開始 後の時間 (分)	避難可能 距離(m)	町名	津波到達 予想時間 (分)	避難開始 後の時間 (分)	避難可能 距離(m)
北瀬町	14	9	270	喜田町	—	—	—
北瀬東町	14	9	270	光ヶ丘	—	—	—
北瀬西町	14	9	270	中川	16	11	330
馬場町	—	—	—	国府松原町	14	9	270
宮ノ上町	16	11	330	天満浦	12	7	210
田ノ下町	22	17	510	大坂一丁目	14	11	330
坂本町	18	13	390	大坂二丁目	14	11	330
坂本西町	24	19	570	大坂三丁目	18	13	390
倉ノ谷町	24	19	570	大坂四丁目	28	18	480
荒江町	24	19	570	松ヶ丘	22	17	510
野地町	18	13	390	大坂南町	—	—	—
栄町	16	11	330	矢張森町	—	—	—
中井町	14	9	270	南井	12	7	210
津町	12	7	210	大寺橋浦	12	7	210
朝日町	12	7	210	行野浦	16	5	150
中村町	16	11	330	富貴利町	16	5	150
古戸町	—	—	—	九島町	7	2	60
古戸野町	—	—	—	早田町	7	2	60
泉町	—	—	—	三木連町	7	2	60
大滝町	—	—	—	小坂町	7	2	60
上野町	—	—	—	名張町	8	3	90
南瀬町	22	17	510	三木里町	8	3	90
中央町	16	11	330	古江町	8	3	90
林町	12	7	210	喜田町	16	5	150
瀬木山町	12	7	210	喜田町	9	4	150
小川東町	18	13	390	喜田町	6	1	30
小川西町	22	17	510				

尾鷲市地域防災計画



地域防災力向上のイメージ(三重大学坂本教授)

3.都市構造可視化の現場での活用

3.Actual use of visualizing urban structure in real society

- 津波の浸水深を可視化し、普段見ている建物の被害や、避難の可能性をリアルに感じる。

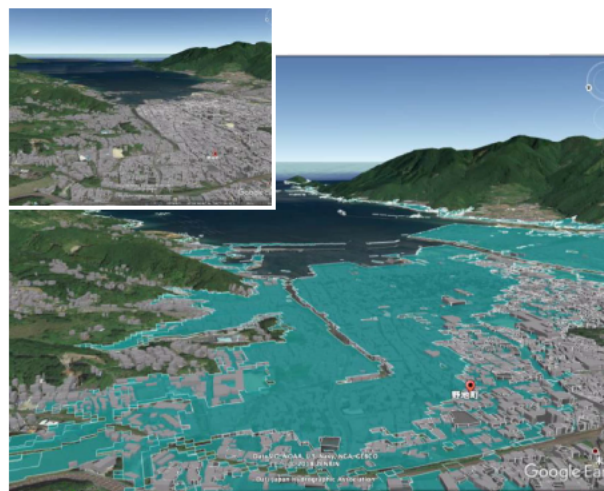
→地区レベルの議論に活用し、**具体(本気)の行動**につなげることで

津波による死者0を目指す

- 尾鷲市での関係者ヒアリングより、津波到達への時間感覚がないという意見がでたので、現在津波浸水深のアニメーション表示を作成



特に避難時間が短い地区
天満浦



尾鷲市中心市街地地区
野地町

4.都市構造可視化の今後の活用アイデア

4.The other utilization of visualizing urban planning

○i-都市再生における可視化の今後の展開アイデア

(1)海象データの可視化

水産資源管理のために設置されたスマートブイのデータについて、可視化。

→活用シーン：水産資源管理、出漁判断

(2)都市構造のアーカイブ

歴史的なまちなみや、自然地形をVRで再現し、アーカイブを作成。また、大規模な再開発等で現状のまちなみが変わってしまうエリアを対象に現状景観を残す。

→活用シーン：映画のロケハン、歴史教育、景観計画基礎データ

(3)地下部分可視化

道路埋設物やビルの壁の中にあるパイプ・配線を可視化。ARにて関係者で共有できるようにする。

→活用シーン：工事現場における埋設確認、地下街のリノベーション情報共有



名古屋市の古い街並み

5.紹介

5. I am...

(1)本気で(呑みながら)まちづくりを考える勉強会



(3)食材の源流を辿る燻製体験(燻製工房 いぶり屋のぶ)

(2)スキーやボードのレッスンと合わせた自然体験

